

マンホールから考察する宇和島市の活性化

1年1組 岡田 彩乃 1年1組 東 野乃

1年3組 坂本 奈々 1年3組 山口ひなた

指導者 井上 真介・山下 佳代・西川いず美・小山 尊浩

1 課題設定の理由

テレビで「蓋女」という、マンホールの写真をコレクションすることが好きな人たちが急増していることを知り、宇和島市のマンホールに興味を持った。そこで、現在の宇和島市のマンホールを調べて闘牛と牛鬼の柄が多いと分かったが、本当に闘牛や牛鬼が宇和島で有名なのか、県内の人と県外の人で宇和島に対するイメージは違うのかということ調べることで宇和島市の活性化について良い方法が見つかるのではないかと思い、この課題を設定した。

2 調査方法

- (1) インターネットで蓋女や全国のデザインマンホールについて調べる。
- (2) 市役所で宇和島市のデザインマンホールについて聞く。
- (3) アンケートの実施

<アンケート調査項目 (抜粋) >

- ・宇和島と聞いて思いうかぶものはなんですか。
- ・牛鬼、真鯛、真珠、みかん、闘牛、宇和島城、その他

3 結果と考察

(1) 結果

ア インターネット調査の結果

- ・蓋女とは、マンホールの柄が好きな女子のことで、様々な地域のマンホールを撮影したりする女性のことである。
- ・デザインマンホールの例 (写真1)
鳥取県→ゲゲゲの鬼太郎、名探偵コナン
広島県→広島東洋カープ

イ 市役所調査の結果

平成10年までは中心に宇和島のマークが入っていて、デザインは単調なものだった。デザインマンホールは約20年前に広がった。当時作られたデザインマンホールにはイメージアップ効果も込められていたが現在は安全面において適しておらず、また色をつけることで金額が高くなるのでその数は減りつつある。新たに作られているマンホールはスリップ防止や浮き上がり防止のロックなど人々の安全に考慮してつくられている。

ウ アンケート調査結果 (図1)

- ・宇和島と聞いて思いうかぶものは何ですか。
今回の調査で、県内では年齢が若いほど牛鬼が多いことや年齢が増すごとに闘牛が多いこと、県外ではその他の中ではじゃこ天が多いこと、県内と比べて闘牛の割合が多いことが分かった。



写真1

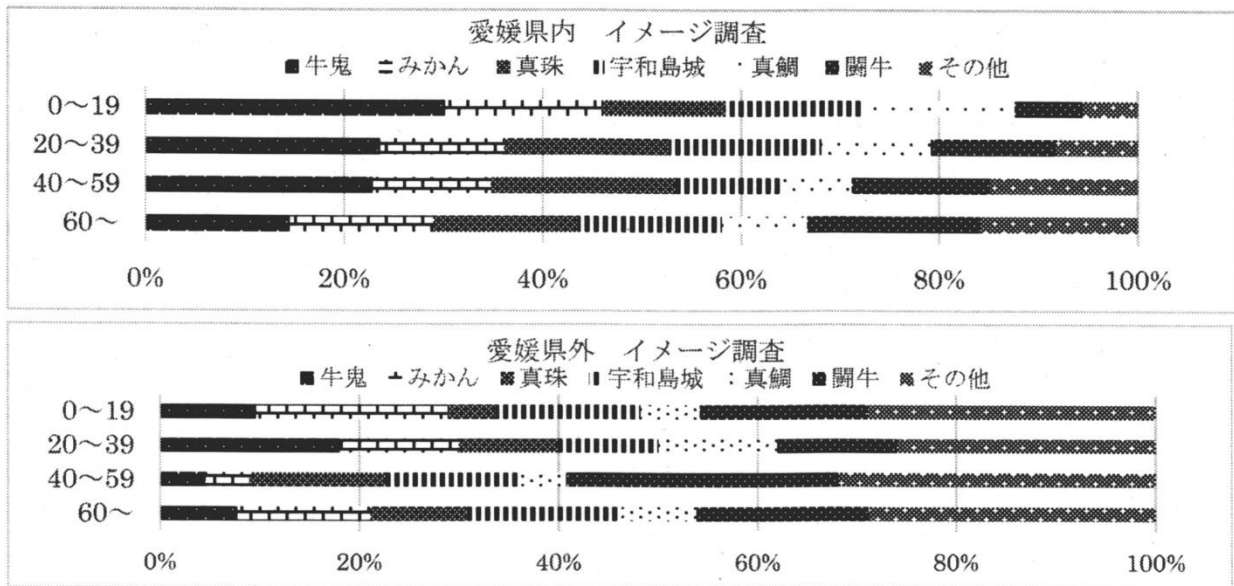


図1 アンケート調査結果

(2) 考察

ア インターネット調査考察

野球球団のマンホールやキャラクターのデザインをはじめ、それぞれの都道府県の特徴・特産物をとらえている。

イ アンケート考察

牛鬼のイメージが多いのではないかと考えていたが、やはり県内の方はそのイメージが強かった。考えられる理由の1つとして、宇和島市のお祭りやイベント等で実際に見る機会が多いことが挙げられる。じゃこ天カーニバルと呼ばれる産業祭りの際に実施したアンケートでは、県外の方のイメージではじゃこ天(その他)が多かった。これらから、イベントとイメージは直結しているのではないかと考えた。よって、宇和島市を活性化させるためにはイベントが効果的ではないかと考える。そうするために、設備を整備する必要があると思う。また、アンケートを取っている際、外国人が多いことも分かった。

4 まとめと今後の課題

これらのアンケート結果や、本研究を通して、私たちは宇和島市を活性化させるために二つの案を考えた。

(1) 外国語のパンフレットを増やす。

平日だったからかもしれないが、アンケートをとり宇和島城に行った際、中国人の多さに驚いた。観光地には外国語のパンフレットを増やす必要があると考えた。

(2) スタンプラリーを設置する

イベントを見直すのであれば、宇和島でPRできるものを用いたスタンプラリーを設置すればよいのではないかと考えた。養殖場などの見学や釣りなどの体験をする水産系、みかんやじゃこ天を食べる宇和島の特産物系、宇和島城や伊達博物館などを巡る歴史系スタンプラリー等を設け、何度も宇和島に足を運んでもらえるようにする。

これらの案を宇和島市に提案したい。

参考文献

・ギャザリー <http://gathery.recruit-lifestyle.co.jp/article/1141622460558481901>